

NPO法人活動の 原点と不動の目標

理事長 高林実結樹

当NPO法人の活動がメール取材によって、ソーシャルアクションリングに取り上げられましたので、転載させて頂きました。

古川勇樹取材者様の温かなコメントに、感謝しています。

問 どうしてこの活動をはじめたんですか？

答 現理事長・高林実結樹の母親が認知症であったことと、本人には病識があり、痛切に治りたいと願っていたにもかかわらず、「本人には病識はない」という誤った概念が社会通念で、認知症を予防したいという願いは受け入れられず、まるで異端者のような孤立感を感じていました。母親の没後（1983年）は在宅介護体験に基づいて、認知症在宅介護家族へのボランティア活動をはじめ、1993年に、静岡県で創設された認知症を早期でくいとめる教室「高齢者リフレッシュセンタースリーA」の成果を知って感銘を受けました。認知症を発症した方々の脳活性化訓練として、様々なゲームやレクレーション、書道や絵画教室な

達が改善の兆しを見せられる瞬間、またはリズム感を失って認知症に近づきつつある人達が、リズムに乗れるように変化される瞬間に立ち会えることが最高の喜びです。

問 今後の夢と目標を教えてください

答 認知症予防ゲームは認知症だけに効果があるのではなく、ストレスの多い介護家族、脳梗塞の後遺症に悩む人、または精神疾患で出口の見えない人、又は登校拒否で学校の保健室に毎日通学している子ども達、また東日本大震災で、打ちのめされて再起不能のように落ち込んでいる人達も元気な笑顔を取り戻されています。このように「みんな」に有効なゲームという意味からゲームの名称を「みんなの認知症予防ゲーム」と称している。このゲームのリーダーを大勢養成して、きたるべき2025年問題に寄与したい、これが目標です。また、このゲームは参加者や高齢者の経験や智慧、リーダーの観察力、機転、工夫、経験が一体化し、「みんな」の協働作品として昇華し続けよう幅広く、奥深くなっていくものと思います。

「た」と思っていて欲しいと願っている方ならば誰でも「みんなの認知症予防ゲーム」のリーダーになれます。各地で開催されているリーダー養成講座にご参加ください。厚生労働省の「平成16年度老人保健健康増進等事業」による『痴呆（認知症）予防教室（増田方式）に関する調査研究報告書』でゲームの効果が数字で表されています。MC Iレベルに揃えた教室では、87・3%の人がMMSEで平均2・76点アップする、生活面の著しい改善が見られると、報告されています。この報告書の価値は無比のものと考えます。

取材者のコメント 古川 勇樹

一人の方の実体験を元に、その体験を他でも活かしていこうとする活動を展開している。認知症というものを恐れてネガティブに考えるのではなく、認知症に対して予防しているという発想により、歳を重ねてからも生活する人々に元気を与えることが出来るのだ。高齢化社会である日本において、ただ歳を重ねながら病を恐れるのではなく、認知症を予防して歳を重ねても健康的に生きていくことが出来る活動は重要なものであり、一人一人の生き方を良いほうへと支えてくれ、今後も引き続き様々な人の助けになる活動だろう。

問 この活動の遣り甲斐や喜びはどんなときに感じますか

答 予防教室やサロン、予防ゲームのリーダー養成講座を通じて感じる最大の喜びは、認知症に入った人

問 この活動に参加してみたいと思う人にひと言

答 元気がない方たちに「生きていて良かった」「ここにきてよかつ

北宇治地域 包括支援センターでの 月1回教室から

保健師 岡本恵子

平成25年から、予防教室の担当になり、毎月第4木曜日、参加者様と一緒にゲームをしています。先生のやさしそうな表情とやさしい声かけで笑顔の中、ゲームをしています。私自身の認知症予防になっていると感じています。北宇治地域包括支援センターの職員として、教室がスムーズに運営されるよう、お手伝いできればと思っています。

介護福祉士 上島 知

認知症という病気が一般社会に認知し始めた今日。

それでも尚、認知症という病気を特別な病気と思われる方は少なくありません。

認知症という病気を持つ方と関わる私達は他機関と連携し、認知症という病気がいかに一般的な病気か、予防、治療しうる病気を社会に今よりもさらに周知していただく必要があります。

予防ゲームは効果的な予防法、治療法の一つで、一人ではなく皆と一緒に楽しく笑いながら行える予防法だと思っています。また認知症予防教室に参

加して一年半ほどしか経っておりませんが、今後とも学んでゆきたい所存であります。

ケアマネ 猪俣昭正

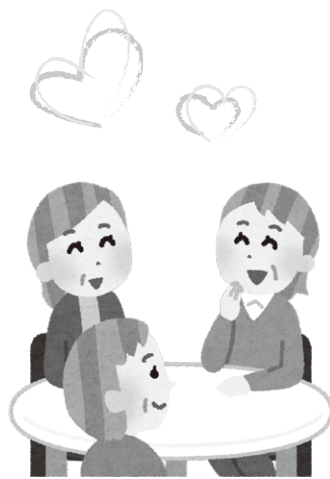
約半年間、「認知症予防教室」に参加をして、この予防ゲームが、身近な生活の場で展開されれば、認知症の理解も広まり、予防意識も高まること期待できると痛感を致しました。

毎月の教室を通じて具体的に感じたことは、自己紹介では、仲間作りの一環として行う。指を使って数える、集中力の訓練と指関節の運動(数える習慣の取り戻しをする)。歌いながら指や腕の運動では、指関節の運動、ルールの記憶と集中力を養う。また、上半身を使うリズム運動は隣人とタッチしながらリズム感を取り戻す。頭の体操は記憶を引き出す、図案や文字の観察力を高める、注意の持続性を養う、計算力を付ける、回想して楽しむなど、常に脳刺激をしていくことが重要だと思いました。現在、人口の高齢化と共に、認知症高齢者の数が増加してきており、介護予防の重点課題となっている。認知症は誰しもなりたくないと思われている病気であるが、治療法は確立されていないようです。近年、疫学的研究や実践的研究によって、予防の可能性が示唆されるようになり、この「認知症予防教室」を通じて、認知症予防に向けた取り組みが強調されていくことを

願うばかりです。

スタッフ 戸山怜香

認知症予防教室に参加させてもらって、最初はゲームについてこれなかった方も、何回か参加される中で、だんだんゲームについてこられるようになってくるのが、すごい事だと思いました。認知症の方で表情がなかった方でも、だんだん表情ができてきて、楽しそうにされているのが、とても新鮮で印象に残っています。



認知症予防教室に参加して、友だちもできました。家でも教室で習ったゲームに取り組んでいます。(木村富子)

認知症にならないように、毎回参加させていたたいです。先生も楽しくしてくださるので、とても楽しく帰りの時には元気になって、お昼ご飯を美味しく頂いています。有り難うございます。(芳村貴代子)

ご褒美

9月19日(土)、20日(日)の二日間、京都SKYふれあいフェスティバルが京都市伏見区のパルスプラザで、開催されました。当NPO法人からは両日とも4人ずつが参加しました。

ブースでは活動の展示と悩みなどの傾聴や、タッチパネルの体験で、関心を深めていただくことが出来ました。

二日目はステージ発表もあり、「みんなの認知証予防ゲーム」を披露して、大勢の観客の方に、声を上げて笑っていただき、楽しみながら頭と体を動かす独特の認知症予防ゲームがどのようなものか、ご理解いただきました。

ステージ発表は、大道芸や、詩吟、コーラス、群舞、ありとあらゆる発表が行われて大賑わいでしたが、認知症予防ゲームは観客の参加型であることと、笑い声が一番多かったと審査員のお眼鏡に叶って、何と「賞」を頂いたのです。「賞」は美味しいおまんじゅうで、みんな喜びをわけあいました。「賞」を思いもよらず頂いて、出場者もブースの留守番役も、にこにこ顔になりました。

(事務局)

宇治明星園主催の 人権学習会で認知症の話

(同園の機関紙から転載)

今年の社会福祉法人宇治明星園の人権学習会は、平成27年9月6日(日)18時30分〜20時まで菟道明星園デイサービスセンターにて、現在NPO法人認知症予防ネット理事長である高林實結樹先生をお招きし「認知症になって初めて気づく人権問題〜無視・軽蔑・偏見〜」をテーマに認知症予防の大切さを学びました。

先生と明星園のご縁は20年前からあり、先生は小倉明星園で事務をされていました。

実母がアルツハイマーとなり在宅で介護をされその後、認知症予防ゲームの成果に感動され、NPO法人認知症予防ネットを立ち上げ現在も広報活動に力を入れておられます。

学習会では、「認知症予防ゲーム」の名称を2015年夏に「みんなの認知症予防ゲーム」に改名され、その効果や実績についてお話いただきました。

実際にゲームにはどのような効果があるのでしょうか・・・

例えば、歩きながら計算をするという行動は、歩く・計算するという2つの事を同時に行ないますがゲームでは

7〜8個の異なることを行ないます。リーダーによる、かけ声や動きを一緒に行なう事により、ゲームをしながら笑顔・リズム感を取り戻すことができます！

それにより印象(姿勢)が変わり継続することで、記憶力の引き戻しや、意欲の向上、自発的な報告が可能になる等の効果があるということでした。

実際に先生の掛け声に合わせて出席者70名程で10分ほどですが、ゲームを体験しました。ゲームをしてみると、なるほど、笑顔や笑いが起り、リズム感を感じることができました。先生からはぜひこのゲームを明星園の施設でもどんどん取り入れてほしいと言われました。

実際、伊勢田明星園職員宮本さんはこのゲームの養成講座に参加され現場で実践されているそうです。週に3日(月・水・金)最初は戸惑いを見せた方も今では笑顔で楽しんで参加されているそうです。

参加した職員からは、今月からでも取り組みたいという声も聞かれ、今後の明星園での成果を先生にご報告ができるよう頑張りたいと思います。

最後に身元不明者の早期発見に向けて製作された「安心ばつち」も広めていきたいと思われています。このバッチは認知症を原因とする身元不明者は、1万人と言われており、1人でも多く

の方が助かればという思いで作製されましたが、認知症専用ではなく、若いも若きもみなさんに利用していただきたいという思いで製作されているそうです。

思い出 高林實結樹

NPO法人認知症予防ネットは本拠を京都府宇治市に置いています。宇治の老人施設「宇治明星園」に私の採用が決まったのは平成7年2月、小倉明星園のデイサービスセンターが、日本で初めてのパイロット事業としてスタートした時、初代事務員に招いて頂いたのです。

阪神淡路大震災の直後だったことをうけて、宇治市に転居したのですが、再々就職のデイサービスセンターの事務職は、想像以上の多岐に亘る仕事がありました。高齢者レクというプログラムを初めて見たこと、手不足の時は現場のお手伝いも。いろんなタイプの認知症を持つ方たちとの接触、一人ずつお顔が違うように、認知症の現れ方も一人ずつ違うことを知りました。宇治市内で最重度と目される方をデイサービスにお迎えしたことも、現在の活動の原動力です。

明星園で学んだこと、先輩職員の皆様にご教えたこと、走馬燈のように思い出しながらの人権学習会でした。その報告文まで転用を許可していただき、感謝しています。

京都SKY ふれあい フェスティバル

9月19日(土)
20日(日)



脳活性化ゲームが始まるよ〜



タッチパネル



京都府南部和束町で 始まった教室

平山 眞砂美

京都府南部に位置する和束町からのご依頼で、2015年8月より2016年3月までの間に18回の予定で、「みんなの認知症予防ゲーム」を紹介、体験していただいています。

和束町はおいしいお茶を育てる環境に恵まれていて、古くから香り高い高級煎茶の地として有名です。宇治茶の40〜50%を生産する最大産地で、とくに抹茶の原料となる碾茶（てんちゃ）は日本一の生産量を誇るそうです。風景も素晴らしく、「茶源郷」とも呼ばれる美しい緑の茶畑が山の斜面一面に広がっています。

その和束町で「みんなの認知症予防ゲーム」を紹介する機会をいただきました。ここにはサロンが17か所あり、高齢者の方には予防ゲームを体験していただき、ボランティアさんにはゲームをリードしてもらえようと各地区的サロンの回っています。あと一回は、町全体を対象に予防ゲームの紹介を行う予定です。

ゲームが始まる前には硬い表情だった皆さんが、帰るときには「今日は楽しかった！また来て！」と満面の笑顔で口々に言われると、本当にこのゲームをやっていて良かったと思います。まさに私たちへの最高の褒美に疲れが

吹っ飛ばす瞬間です。

「みんなの認知症予防ゲーム」が和束町に根付きますように、力いっぱい紹介していきたいと思っています。

認知症予防教室に 通い始めた母

望月 はつき

現在私は79才の実母を介護して2年ほどたちます。

7年前に父が他界し、独居となつてしまった母が呆けてしまつてはいけなさと、地域包括支援センターに相談して、紹介された教室に通つていた事もありましたが、独居である寂しさからか訪問販売にひっかかり、それをきっかけに病院受診する事になり、診断結果は初期のアルツハイマー型認知症でした。

病院の先生からは、まだ極初期の症状なので、頭を使うようにしてくださいと言われ、具体的には計算、料理、人と会話、手を使う作業などいろいろ教わり、実践していました。母は記憶力の低下がひどく、思い出すという作業を嫌がり、少し考えただけで分からないとすぐに私に答えを聞いてくるという状態でした。

認知症カフェで相談した専門職の方から「みんなの認知症予防ゲーム」を実践している教室を教えてください、最

初はやっている場所の関係で月1回でしたが、今では月に3回のペースで通わせてもらっています。

現在は8ヶ月程たちましたが、この間病院の先生に簡単な長谷川式の認知症テストをやってもらいましたら、全問正解でした。いつもは三つの言葉の遅延再生で二つしか答えられていなかったし、100から7を引く計算も今回はパーフェクトだったので、先生も驚いていました。

八ヶ月たつてようやくやく効果が始まりました。これこそ、介護者の喜びだなと実感しています。教室の先生、お世話になった方々、本当に有り難うございました。

精神科病院での 実習5日目

渡部 真理子

今日、2人の患者さんに手指の体操でんでん虫、グーパー体操を10分間だけやってみました

3人でプチ盛り上がりしました。あと8日間実習できるので、チャンスを作って実践して、患者さんに元気になつてもらおうと思います。



認知症予防ゲームのテキスト&DVD 好評発売中

増田方式に学んだ
“優しさのシャワー”と名づけられたかわり方と
楽しい脳活性化ゲームの手引き書です



書名
認知症予防ゲーム -テキスト-
著者名
高林美結樹
発売所
中西印刷株式会社出版部
番 号
ISBN978-4-87974-623-8
金 額
1,000円+送料(180円)



ゲームごとにルールの説明、および協力していただいた高齢者の模様を収録しています。テキスト本編と併せてご覧頂くと、ゲームの進め方、言葉のかけ方、優しさのシャワーについて納得していただけます。

DVD価格：3,000円（送料1枚200円）

申込方法

郵便局の払込取扱票にDVD申込金3,200円と書いて、ご送金ください。入金確認後、折り返しお送りします。

加入者名：NPO法人認知症予防ネット 口座番号：00900-1-223642

100万人の胸に 四つ葉のクローバーを(2) 安心バッジ その後の報告

認知症を原因とする身元

不明者が、一年間に1万人と聞いて、人ごとで無いと思つて写真のよ



うな「安心バッジ」の普及に取り組んでいます。
バッジの目的は認知症対策からですが、年齢・健康状態に関わらず、身元証明、名刺代わりの身分証明のような意味で、可愛い迷子札と思つて頂けるのが、もくろみでした。認知症による身元不明の方が一人でも助かれればと考

えたのが原点です。
表にN A M A E(名前) D E N W A(電話) U R A G A W A(裏側)と書いてあります。

裏側に名前と電話番号を書いた白いシールを貼り付けるように、セットで小袋に入れてあります。

このバッジは、決して認知症専用ではなく、誰でもが不測の事態で身元不明にならないためにも、老いも若きも多くの方に利用していただきたいのです。外出先で、いつ事故が起きるか分かりません。バッグやポケットの中に入れておくだけでも良いのです。ご自分

と関係者の方々の安心の保障です。出来ればこのバッジを付けていただいて、市民の共助・共生のシンボルとして役立てほしいと、切に願います。

バッジが本当に役だつたか、自信はありませんでした。しかし、突如役に立ったのです。

バッジが役立つた例

知人のお宅は90才過ぎたお母さんが、息子のケンイチさんと一緒に暮らしておられます。お母さんは認知症が始まったのも足腰がとてもお丈夫です。かつて、2度、無断で散歩に出て地下鉄の北の終点まで行かれた実績があり、警察のお世話で無事帰宅されました。

次は大阪、運良く交番所の方が該当地名が大阪になかったが、京都にあることに気付かれ、先の所轄警察に連絡。無事帰宅。この直後にバッジが完成し早速胸に付けられたのでした。

三度目です。2015年7月29日午後8時過ぎ帰宅したケンイチさん、寝ているはずの母キクエさんがいないとすぐに判明。

留守中にいなくなるのは今年になって3度目。住所の町名と名前は見える筈なのですが、また出かけたかと警察に連絡しようとした8時15分、電話が入りました。

「天理教河原町詰め所の〇〇です。おばあさんをお預かりしています」20分ほどで迎えに行きます。「いや、奈良県の天理市の河原町です」ということ

で、京都市から天理市まで迎えに行つて、最短時間での帰宅は11時50分頃。

自宅から乗り換えが2度も必要な天理まで、どのようにして行つたかは分からずじまい。当時天理市では子供祭りのようなイベントが開かれ、人の流れに沿つてキクエさんが会場にはいったとき〇〇さんが、キクエさんの胸のバッジに気付かれ、「珍しいバッジですね」と声をかけ、裏側の白い紙がチラツと見えたそうで、電話番号を確認、ケンイチさんに電話された由でした。

バッジ完成までの出来事

大阪行きの時はケンイチさんが寝ている早朝に出かけられたらしく、念のためにとスニーカーの踵部分に電話番号を書いてあったのに、その靴を履かずに大きいケンイチさんのスニーカーを履いて出られた。

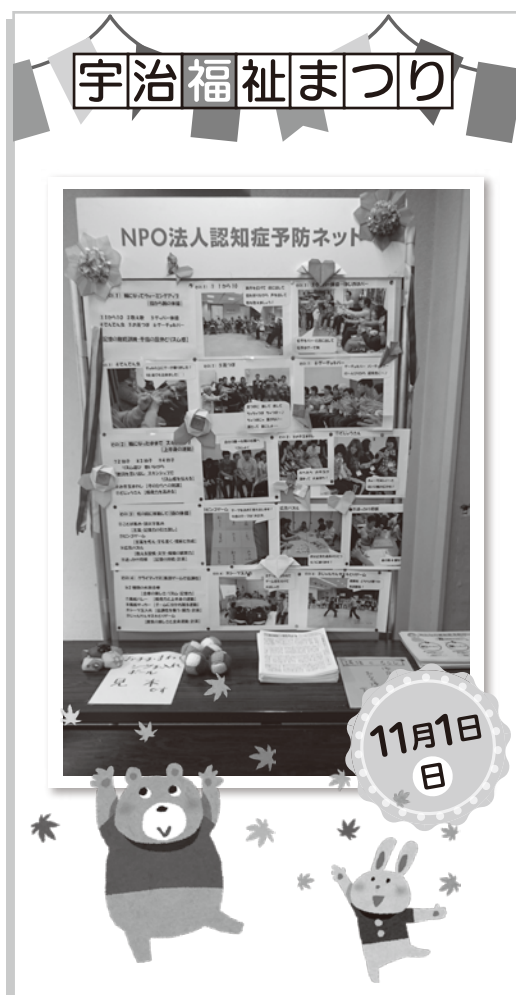
逆にそのため大阪で大きな靴を履い

ている高齢者を不審に思つた方がすぐに交番へ連れて行つて下さったのだが、自宅に連絡がきたのは10時過ぎ、すぐ迎えに行つて午後1時頃帰宅。そのときのケンイチさんの憔悴しきつた顔付きと、帰りの電車の中でお弁当を食べたキクエさんの遠足に行つた子供のよ

うな上機嫌の顔付が目には焼き付いて、私は忘れることができません。
この件でご当人の立場はもとより、家族の心配を軽くしなければと、バッジ制作に拍車がかかった次第。新聞に取り上げて頂いたので、遠方の方からもお問い合わせを受けています。

どこでも、だれでも、バッジを役立てて頂きたい一心です。
会計報告としては、見本と称して進呈している段階のため、独立採算制は赤字です。

(バッジ制作担当者 原悦子)



みんなの認知症予防ゲーム 320回継続の魅力

スズメの学校 主宰 原悦子

認知症予防教室「スズメの学校」は平成20年4月開校。現在の参加人数は18名。

ゲームの特質は親子で、時には祖父母と孫、夫婦で同じように楽しめること。300回以上同じゲームを繰り返して、なぜ参加者は飽きず、楽しみにしているかという「いつも通り」という心穏やかな日常生活とおなじで、ゲームに参加することが生活の一端となり「自他の人生を支えている」ということです。昨年300回を記念してご家族やご本人から書面で頂いた感想のいくつかを紹介し、実証報告とします。

STさん女性79歳。5年目。(本人) 脊椎管狭窄症の術後が芳しくなく同時にパーキンソン病を発症。将来が不安になったとき、教室に出会う。当初と現在の体調に変化はない。現状維持ということは大変有り難く「親しみを感じる方々と楽しいゲーム、季節の和菓子、時にはお抹茶を頂いて、幸せいっぱい次回を楽しみにしている」

KTさん女性89歳。5年目。(家族) 平成12年夫没後一人住まい。5、6年前から記憶力、注意力等の低下が見受けられ、悲観的になる。娘3人が母の健康長寿の方策を考えていたとき、リビングの紙面で教室を知り、参加。当初は教室までの道順が覚えられず、途中で引き返すことが何度かあったが、通う程に元気に明るく、活動的になり、以前の母に戻ったように思う。年々手助けが必要な事が増えてきているが、母と一緒に穏やかに過ごせて幸せ。

NRさん女性87歳。(レビー小体型) 5年目。(家族) 要介護5の父の世話をしながら少しずつ物忘れが始まる。平成20年2月父没後、リビング掲載の写真を見て、楽しそう(本人の感想)と同年8月から教室へ参加。当初、「今日はどこへ行ってきたの」と聞くと、「どっかに行ってきた気がするけど」といった返答。しかし、教室の前まで来ると思い出すようで、教室の皆さんも記憶に残るようになってきた。

KMさん男性78歳。(若年性アルツハイマー) 2年目。(妻) 仕事人間で趣味も人付き合いも無し。医師から人と交わるようにと言われ2年前からデイサービスへ渋々通っている。それに反して教室はいやがる事も無く楽しんでいる。付き添いで参加する自分も、楽しみながら夫への接し方を学ばせてもらっている。

(主宰者) 気難しい点があつて気を遣うが、最近風船サッカーの時、奥様に対して「みっちゃん頑張れー」と声をかけ

られるようになり、笑顔が多くなった。

FTさん女性81歳。2年目。母娘で参加。時々祖母孫で参加。当人の感想「皆で話しをしたり、ゲームをするのは楽しく気持ちも若がえる。行くという予定があるだけ嬉しい、楽しい。帰宅後は気持ちもすっきり、達成感がある」

(主宰者) 初めて教室に迎えたとき、動作緩慢、水ぶくれの印象、終始不機嫌だった。今は同じ洋服にもかかわらず、サイズが変わったようにスリムにみえて動作も軽快。明るい表情で別人のよう。ご家族は「鼻歌すら聴いたことが無いのに大きな声で歌っている、母の縮んで固くなった心が穏やかに和らいできた」

TNさん女性56歳。HTさんの付き添い参加。自分自身のストレス解消になる事を発見。ご参加高齢者皆が明るくて活動的だと評される。

HTさん女性91歳。(本人) 「11年前に夫を見送った後、学校時代の友達と集まって話しする程度で刺激の無い生活。教室参加で友達ができ、幸せの一時を頂いている。今まで見過ごしていた季節の何気ない一つにも気持ちを寄せていることに感謝」。ご家族は「教室が無ければ引きこもり。参加を迷っているときは、ともかく行けばと背中をおす。帰宅時は晴れやかに「行って良かったわあ」との言葉が聞ける。」

最後に私事ですが、母の終末期2年ほど自宅看護を一人で続け得たのは、その間も教室運営を続けたお陰。92歳の母親(レビー小体型)と参加している60半ばの子息、台風で休校にした翌週、「もう疲れた」とやつれた顔で来校。帰り際には「じゃまた来週」とニコニコ顔。普段でも道具類を運び込むときに来合わせても、見ぬふり。帰り際にははたき車に積んでくださいます。ゲームでストレス解消です。



クリニックのデイケアにおける認知症予防ゲームの効果について ～自信の回復とQOLの向上を目指すゲーム運び～

中村 都子

京都市内のクリニックでデイケア利用者7～10名を対象に2014年12月～2015年4月にわたって、毎木曜連続20回ゲームを実施し、ゲーム開始前と最終回終了時に、タッチパネル式(物忘れ相談プログラム)と、補足で希望者のみに、「かなひろいテスト」を実施し、開始時と終了時の結果が得られた利用者は6名。その中で、特に得点数値のアップと共に、精神面、行動面での変化がみられた2名を紹介する。

【A氏:主に運動機能の回復から】

84歳(女性)、脳梗塞後遺症、左麻痺、普段から笑顔が出にくい、保健師だったことから体調を気にかけている、週1回の利用。

連続教室開始当初は、硬直の残る左手を使いたがらなく、手指ゲームは左手をかばうように右手だけで行っていた。左手はほとんど膝の上に置いた状態。笑顔はなく、言われたルールどおりに真面目に淡々と取り組んでいるといった様子だった。

8回目あたりから、「お手玉まわし」や「どじょうさん」というゲームの中で、少しずつ左手指を動かすようになり、他のゲームでも左腕が持ち上がるようになる。「夢の旅」では、行き先を進んで提案し、ゲーム終了時の行き先やお土産の遅延再認でもはっきりと自信のある笑顔で答えられるようになる。

左手をかばうことはなくなり、「広告パズル」でも細かい作業が一人で出来るようになった。

【B氏:ゲームの雰囲気から自信の回復へ】

84歳(女性)、要支援2、左眼瞼下垂OP、視力右0.05 左0.2、利器力低下、転倒後不安感増、見えないことを出来ないことにつながっている。

教室開始1～2回は、ゲームの参加に拒否的。「何をするのか」「見えないから私には無理」の発言多い。どのゲームでも、「分からないから止めておく」「これは出来ない」と消極的な態度で、見学の場面が多かった。

毎回、ゲームリーダーの隣の席を定位置にして、リズムのとり方などB氏の理解に沿い、ゲームを進める。ゲームは満点の出

来を求めるのではなく、楽しく取り組んで、自分なりの達成感が持てるように常に声掛けをする。

【B氏の変化】

教室の3回目くらいから、早めに着席して開始を待つ姿勢がみられた。ゲームが完璧でなくても、むしろゲームリーダーと違う動作をしても笑いあえる雰囲気、心から楽しんでいる様子が伺えた。皆の輪の中に自分がいて、一緒に楽しめることに嬉しさを表し、ゲームへの積極性がみられるようになった。

後半はゲーム中に、B氏の大きな声が響き渡ることもしばしばで、「風船サッカー」で自分のシュートが決まって得点になると誇らしげに、「私が入れた。」と喜びを素直に表現した。

【他の利用者の変化】

要介護3の男性利用者(82歳)の家族が、デイケア職員に、「最近デイに行くのが楽しいと言っている。」と知らせてきた。

回を重ねるごとに、全員がゲームを心待ちにし、椅子を並べたり、机の移動など積極的な動作がみられるようになった。

いつも物静かで控えめに楽しんでいた利用者が、ゲームのルールが理解できなかった時、意欲的に問い直すこともあった。

輪になって行うことで仲間意識が生じ、他者への気配りがみられるようになった。

【最後に】

クリニックのデイケア利用者(木曜日)10名は、ほとんど脳梗塞の後遺症、或いは骨折の術後のリハビリ目的が多く、今回のMSPの実施で、「図形の項目」が、1名を除き得点降下がなかったことも確認できた。

ゲームの進め方、スタッフの言葉かけ、楽しい雰囲気、大笑いなど、全てが合わさって、利用者自らが自分の力を確認したことにつながっていったと考えられる。

(註:学会発表文を要約、タッチパネル、仮名ひろいテストの結果についてはNPO法人認知症予防ネットのHPに後日掲載予定)

編集室より

通信34号の発行が大幅に遅れましたこと、お詫び申し上げます。

今年の秋の暖かさは、紅葉の色どりはもうひとつ。12月末に咲き出す桜草が1か月も早く咲きそうです。

(福井恵子)

事務局からのご案内 会員募集

私たちは「みんなの認知症予防ゲーム」認知症予防法の全国津々浦々への拡大を願い、日々活動を続けています。ご賛同下さる方は、ぜひ仲間となり、会員となって応援してくださいように、お願い致します。詳しくは一頁上段記載事務局へお問い合わせください。

(1)正会員 — 入会金 2,000円 年会費 6,000円

(2)賛助会員 個人 入会金 1,000円
年会費 (1口) 2,400円 1口以上

団体 入会金 3,000円
年会費 (1口) 24,000円 1口以上

郵便振替口座

加入者名 NPO法人認知症予防ネット
口座番号 00900-1-223642

【学会・イベント】

- 8月9日 熊本県水俣市/Weフォーラム2015in水俣/分科会
9月19-20日 京都市伏見区/京都SKYふれあいフェスティバル
9月26日 兵庫県神戸市/日本認知症予防学会第5回学術集会
9月27日 京都府京都市/にこにこシニアライブ大相談会in京都2015

今後の予定 (15年11月・12月)

【講演】

- 11月9日 京都府宇治市/パソコン教室/勉強会
11月13日 大阪府松原市/松原市社協
11月14日 静岡県浜松市/積志協働センター
11月15日 静岡県浜松市/クリエイート浜松

【教室・サロン】

- 11月2日~ 京都府宇治市/とんがり山のてっぺんDE/1回
11月4日 京都府城陽市/フレンドルーム/近隣高齢者
11月4日~ 大阪府八尾市/八尾市健康福祉部高齢福祉課/連続12回
11月4日~ 滋賀県大津市/比良里山クラブ/1回
11月9日 京都市左京区/ノートルダム修道院/1回
11月9日~ 京都府八幡市/福井家/京阪近隣高齢者/2回
11月9日~ 京都府宇治市/介護ファミリー同窓会/1回
11月11日~ 京都府井手町/賀泉苑/脳活性化クラブ/1回
11月13日~ 京都市右京区/西院デイサービスセンター/1回
11月14日~ 京都市北区/鳳徳サロン/みんなで生き生き/1回
11月15日~ 京都府宇治市/菟道明星園/認知症予防教室/1回
11月16日~ 京都府城陽市/西部デイサービスセンター/1回
11月17日~ 京都府井手町/玉泉苑/脳活性化クラブ/1回
11月18日~ 京都府和束町/和束町地域包括支援センター/5地区
11月20日 京都府山科区/ウィズフィール京都山科/健康教室
11月24日 京都府精華町/みんなの元気塾
11月25日~ 京都府城陽市/陽東苑/もの忘れ予防教室/1回
11月26日 京都府宇治市/NTTふれあい光
11月26日 京都府宇治市/北宇治地域包括支援センター/1回
11月27日~ 京都市右京区/壬生寺老人いこいの家/1回
11月27日~ 京都府八幡市/美濃山幸水福祉部/1回
11月27日~ 京都府城陽市/陽和苑/物忘れ予防教室/1回
12月9日 京都府木津川市/第1集会所/木津川台ゆーゆークラブ

【養成講座・講習会】

- 11月4日~ 京都府長岡京市/長岡京市東地域包括支援センター
11月5日~ 京都府宇治市/青い鳥リーダー養成講座
11月6日~ 京都府乙訓郡/大山崎町地域包括支援センター
11月12日 兵庫県川西市/認知症予防ケアグループきらら
11月13日~ 宇治市原町/NYBネットふれあい/ケアハウス実習
11月16日 岐阜県岐阜市/ハーフスクエア研修室
11月19日~ 京都府久御山町/ふれあい交流館/久御山社協
11月21日~ 大阪府大阪市/ココプラザ/コムケア関西
11月28日 岐阜県各務原市/NPO法人だじょうぶ
11月30日 滋賀県湖南市/湖南市認知症予防の会「野の花」
11月30日~ 滋賀県蒲生郡/日野町/日野町社協
12月8日~ 滋賀県草津市/草津市健康福祉部

【イベント】

- 11月1日 京都府宇治市/宇治市福祉まつり
11月7日 京都府宇治市/「うー茶ん」フェスタ
12月5-6日 京都府宇治市/ゆめりあうじ/あさぎりフェスタ
12月6日 京都市南区/京都テルサ/人権フェスタ
12月18日 京都府城陽市/東部コミセン/久世校区社協
12月20日 京都府宇治市原町/総合文化センター/やましろ地域はく5ん会

【会議】

- 11月6日 京都府宇治市/松原市社会福祉教義会
11月10日 京都府宇治市/黄檗/運営委員会
12月1日 京都府宇治市/ゆめりあうじ/運営委員会

活動報告 (15年6月~9月)

【講演】

- 6月6日 大阪府大阪市/大阪ボラ協/コムケア関西
6月7日 愛知県北名古屋市/認知症予防ネット北名古屋
6月8日 大阪府八尾市/八尾市健康大学
6月22日 兵庫県川辺郡/今井病院3病棟
6月28日 京都府宇治市原町/ゆめりあふれあいサロン
7月2日 大阪府八尾市/刑部地区集会所/緑風園
7月3日 大阪府大阪市/森/宮医療大学/保健師学科
7月24日 京都市伏見区/城南ホーム/介護予防の会
8月3日 京都府京田辺市/京田辺市社会福祉センター
8月9日 京都府宇治市/宇治市視覚障がい者協会
8月21日 京都市下京区/京都市長寿すこやかセンター研修会
8月13日 神奈川県相模原市/保険高齢部高齢者支援課介護予防班
9月16日 滋賀県草津市/南笠東市民センター
9月20日 京都府城陽市/青谷コミセン/老人会女性会
9月21日 京都府精華町/世界アルツハイマーデーイベント
9月6日 京都府宇治市/菟道明星園人権学習会
9月4日 滋賀県草津市/草津市健康福祉部
9月29日 滋賀県草津市/草津市健康福祉部

【教室・サロン・体験】

- 6月1日~ 京都府宇治市/とんがり山のてっぺんDE/4回
6月1日~ 京都府八幡市/福井家/京阪近隣高齢者/8回
6月3日~ 京都府城陽市/フレンドルーム/近隣高齢者/3回
6月5日 京都市右京区/グルーホーム楽しい家高雄
6月8日~ 京都府宇治市/介護ファミリー同窓会/3回
6月8日~ 京都市左京区/ノートルダム岩倉修道院/3回
6月9日 大阪府大阪市/旭区地域包括支援センター
6月10日~ 京都府井手町/老人福祉センター賀泉苑/3回
6月10日~ 京都府木津川市/木津川台ゆーゆークラブ/3回
6月10日~ 大阪府八尾市/八尾市健康福祉部高齢福祉課/12回
6月12日~ 京都府城陽市/西部デイサービスセンター/4回
6月12日~ 京都市右京区/西院デイサービスセンター/4回
6月12日~ 京都府八幡市/美濃山幸水ふれあいサロン/4回
6月14日~ 滋賀県大津市/比良里山クラブ/3回
6月15日~ 京都市/ノートルダム今海道修道院/2回
6月16日~ 京都市/ノートルダム本部修道院/3回
6月16日~ 京都府井手町/老人福祉センター玉泉苑/4回
6月19日 広島県広島市/老健ヘルローゼ
6月19日~ 京都市/ウィズフィール京都山科/健康教室/4回
6月21日 京都府宇治市/菟道明星園/認知症予防教室/4回
6月24日~ 京都府城陽市/陽東苑/もの忘れ予防教室/4回
6月25日 京都府宇治市/NTTふれあいステーション/4回
6月25日 京都府宇治市/北宇治地域包括支援センター/4回
6月26日 京都府八幡市/さくら三ふれあいサロン
6月26日~ 京都市右京区/壬生寺老人いこいの家/4回
6月26日~ 京都府城陽市/陽和苑/物忘れ予防教室/4回
6月27日 京都府八幡市/柿ヶ谷ふれあいサロン
6月27日~ 京都市北区/鳳徳サロン/みんなでいきいき/5回
7月2日 京都市中京区/朱八学区社協/朱八サロン
7月4日~ 大阪府大阪市/森/宮医療大学/近隣高齢者サロン/2回
7月4日 京都府宇治市/平盛デイサービス/学区福祉委員会
8月1日 広島県広島市/ヘルローゼ
8月2日 京都府宇治市原町/禅定寺ふれあいサロン
8月19日 京都市北区/鷹峯社協/絆サロン
8月29日 大阪府摂津市/摂津市/つどいの場「輪」リン
8月30日 宮城県気仙沼市/小原木公民館/認知症予防講座
9月1日 宮城県気仙沼市/旧唐桑小学校仮設住宅/支援グループ
9月2日~ 京都府和束町/和束町地域包括支援センター
9月6日 京都府宇治市/開集会所/きらきらクラブ
9月10日~ 京都府京田辺市/地域包括支援センターあんあん宝生苑
9月19日 京都市北区/元町学区社協/すこやか学級

【養成講座・講習会】

- 6月4日~ 京都府宇治市/青い鳥リーダー養成講座/8回
6月13日 愛知県刈谷市/刈谷市富士松市民センター
6月13-14日 愛知県名古屋市/名古屋南陽交流プラザ
6月13-14日 大阪府大阪市/市民交流センターあさひ西
6月14-15日 京都市下京区/京都ボランティア協会
6月20-21日 栃木県宇都宮市/栃木県健康生きがいづくり協議会
6月20-21日 広島県広島市/広島市南区民文化センター
6月30日 大阪府大阪市旭区/旭区地域包括支援センター
7月11-12日 愛知県北名古屋市/認知症予防ネット北名古屋
7月15日 京都府宇治市/ゆめりあ/宇治市社協
7月26日 岐阜県各務原市/だじょうぶ実技の壺
8月4日~ 京都府長岡京市/長岡記念財団認知症対策推進室/4回
8月17日~ 京都府京田辺市/京田辺市社会福祉協議会/5回
9月1日 宇治市原町/NYBネットふれあい
9月12-13日 広島県広島市/行者山太光寺
9月22日 京都市下京区/新阪本ホール/有志
9月28-30日 滋賀県蒲生郡/日野町/日野町社協/2回
9月29日 兵庫県川西市/認知症予防ケアグループきらら

認知症予防ネット 購読者募集

年3回定期発行 送料込み年500円。お申し込みお待ちしております。(会員には無料配付)